

高知県の貿易年表

年	出来事	輸出品目	輸出先
1858【江戸時代】	◎ 日米修好通商条約を締結し、近代日本の貿易が開始	珊瑚	アメリカ、ヨーロッパ、イタリア等
1918【大正7年】	◎ 第一次世界大戦終戦	土佐典具帳紙	アメリカ、ヨーロッパ
1929【昭和4年】	◎ 主にタイプライター用の原紙として、土佐典具帳紙の輸出が本格化	土佐典具帳紙	アメリカ、ヨーロッパ
1938【昭和13年】	◎ 失業対策や厚生事業の一環として家内工業が奨励され、県内では松笠等を生産し、輸出	松笠等	アメリカ等
1941【昭和16年】	◎ 高知港が開港	木材、竹材、石灰等	中国(満州)
1944【昭和19年】	◎ 第二次世界大戦(太平洋戦争)開戦により、欧米諸国との貿易が途絶		
1945【昭和20年】	◎ 第二次世界大戦(太平洋戦争)終戦		
1946【昭和21年】	◎ GHQの指令により指定品目を輸出	土佐典具帳紙	アメリカ
1947【昭和22年】	◎ 社団法人高知県貿易協会(以下、貿易協会)設立 ◎ 民間貿易を再開	農機具	朝鮮
1948【昭和23年】	◎ 貿易協会が県内12社の商品を大阪の貿易館に展示	土佐典具帳紙等	アメリカ
1949【昭和24年】	◎ 戦後初めて、アメリカからバイヤーが来高		
1950【昭和25年】	◎ 貿易協会が映画「海を渡る土佐特産品」を制作(全国初の貿易協会による映画)	綿糸、生糸等	アメリカ等
1952【昭和27年】	◎ 輸出額が10億円の大打撃を突破、綿糸・生糸等の繊維類が83%を占める	繊維類、木材等	アジア全域
1955【昭和30年】	◎ 琉球向けに製糖設備のプラント輸出を果たす	カナリア、食用蛙、人工真珠等	アメリカ等
1956【昭和31年】	◎ カンパイドや研磨材等の生産増加に伴い、高知港における、原料輸入が本格化	製糖設備等	琉球
1957【昭和32年】	◎ 東南アジア向け戦後賠償船の受注を皮切りに船舶の輸出が本格化	船舶	フィリピン、韓国等
1961【昭和36年】	◎ 浦戸湾の抜本的改造を開始し、高知港の港湾機能を強化	セメント	琉球、東アジア等
1962【昭和37年】	◎ 国内の木材価格高騰に伴い、高知港が木材輸入特定港の指定を受け、木材輸入を開始	珊瑚、研磨材等	中国
1963【昭和38年】	◎ 貿易協会の主導で日本貿易振興機構(ジェトロ)を誘致し、高知貿易相談所を開設(現：高知貿易情報センター)	捕鯨砲、研磨材	中国
1966【昭和41年】	◎ 須崎港が開港 ◎ 須崎港から石灰石の輸出を本格化	石灰	中国
1969【昭和44年】	◎ 海水の汚濁等によって養殖真珠が衰退 ◎ 日中国交正常化 ◎ 沖繩返還	養殖真珠	オーストラリア、台湾等
1972【昭和47年】	◎ ベトナム戦争においてパリ和平協定調印 ◎ 第一次オイルショック	船舶	南ベトナム
1973【昭和48年】	◎ 中国向けに港湾工事用船の輸出を開始	甲板機械、バキュームコンベヤ等	中国
1974【昭和49年】	◎ 南ベトナム向け援助物資を輸出	特殊合金鉄、研磨材	南ベトナム
1975【昭和50年】	◎ パナマ・リベリア向け船舶輸出が増加(便宜置籍船)	港湾工事	シンガポール
1977【昭和52年】	◎ 甲板機械、バキュームコンベヤ等の新たな工業製品の輸出が増加	船舶	パナマ、リベリア等
1979【昭和54年】	◎ 東アジア・東南アジアの経済発展に伴い、特殊合金鉄等の工業製品の素材や、研磨材等の輸出が増加	特殊合金鉄、研磨材	東南アジア等
1986【昭和61年】	◎ 海外における工事を受注し、県内建設会社の海外進出が開始	特殊合金鉄、研磨材	韓国、タイ等
1995【平成7年】	◎ オイルショック等による不況を打破すべく、貿易協会から「円高ならびに不況対策に関する要望書」を政府に提出	港湾工事	シンガポール
1996【平成8年】	◎ 第二次オイルショック	港湾工事	シンガポール
1998【平成10年】	◎ 世界的な不況の中で中東が有望な市場として注目	港湾工事	中東
1999【平成11年】	◎ 建設資材としてセメントの輸出が一時的に増加し、戦後最高額を記録	セメント	オーストラリア、韓国
2000【平成12年】	◎ 本県が主な産地である蛇紋岩の輸出が本格化	蛇紋岩	アメリカ、ヨーロッパ等
2003【平成15年】	◎ 香南市に大規模半導体工場を誘致	半導体	アメリカ、ヨーロッパ等
2009【平成21年】	◎ 本県の友好都市である中国・安徽省を中心に、中国への海外進出が本格化	半導体	中国
2012【平成24年】	◎ 大規模半導体工場が生産する半導体の輸出額が本県の全輸出額の66%を占める	半導体	アメリカ、ヨーロッパ等
2013【平成25年】	◎ 高知県シンガポール事務所開設	半導体	シンガポール
2015【平成27年】	◎ 油圧式杭圧入引抜機の輸出が本格化し、以降、飛躍的に輸出額が増加	油圧式杭圧入引抜機	ヨーロッパ等
2016【平成28年】	◎ 県内企業の東南アジアへの進出が本格化	電子部品、特殊紙等	ヨーロッパ等
2017【平成29年】	◎ 高知港三里地区に高知新港が一部供用開始	電子部品、特殊紙等	ヨーロッパ等
2018【平成30年】	◎ 高知県上海事務所開設(平成26年閉鎖)	電子部品、特殊紙等	ヨーロッパ等
2020【令和2年】	◎ 高知県産振興計画が開始。防災関連製品や食料品等、新たな産業分野の輸出が拡大	ユズ	ヨーロッパ
2020【令和2年】	◎ 貿易協会と高知県酒造組合が連携し、ヨーロッパを皮切りに土佐酒プロモーションを開始	土佐酒	アメリカ、ヨーロッパ等
2020【令和2年】	◎ 輸出入額：570億円、紙・同製品・金属製品・船舶・化学工業製品の4品目で全体の8割以上を占める	半導体	中国、東南アジア等
2020【令和2年】	◎ 輸出額：314億円、金属化学工業等原料、機械機器の2品目で全体の5割を占める	半導体	中国、東南アジア等

トビックス

輸出品目

輸出先